

## 第1回 白河市総合計画審議会 議事要約

- 1 日時 平成24年9月12日(水) 13:30~15:45
- 2 場所 白河市役所本庁舎5階 正庁
- 3 出席者
  - 会長：山川 充夫 (国立大学法人福島大学 学長特別補佐・経済経営学類教授)
  - 副会長：薄井 惣吉 (白河農業協同組合 代表理事専務)
  - 委員：角田 千恵子 (公募)
  - 川口 敏 (公募)
  - 君島 正信 (白河市消防団 分団長)
  - 今野 登志子 (白河市生涯学習推進会議 委員)
  - 酒井 勝行 (白河地域再生可能エネルギー推進協議会 常任幹事)
  - 諏江 俊一 (NPO法人しらかわ建築サポートセンター 理事)
  - 瀬戸 安夫 (NPO法人カルチャーネットワーク 事務局長)
  - 鷹栖 恵里 (公募)
  - 徳田 芳江 (白河市交通安全母の会連絡協議会 会長)
  - 中島 洋志 (白河商工会議所青年部 副会長)
  - 緑川 利衛 (社会福祉法人白河市社会福祉協議会 副会長)
  - 渡辺 史郎 (NPO法人白河ふるさと回帰支援センター 理事・事務局長)
  - ※欠席委員：関 元行 (社団法人白河医師会 会長)

市長：鈴木 和夫

事務局：圓谷 市長公室長、緑川 企画政策課長、邊見 課長補佐、  
関 課長補佐兼企画政策係長、鈴木 主査、星 副主査

その他：(株)ジャパンインターナショナル総合研究所東京支社3人(井口、赤井、奥野)
- 4 次第
  1. 開 会
  2. 委嘱状の交付
  3. 市長あいさつ
  4. 会長・副会長の選出  
※会長に山川充夫氏、副会長に薄井惣吉氏が選出された。
  5. 会長・副会長あいさつ
  6. 諮 問
  7. 審議会委員及び職員の紹介
  8. 議 事
    - (1)総合計画審議会の運営について
    - (2)第2次総合計画の策定方針及び基礎調査結果の報告について
    - (3)白河市第2次総合計画基本構想(案)について
    - (4)その他
  9. 閉 会

## <議事概要>

### (1) 総合計画審議会の運営について

※資料1を説明（邊見補佐）

#### 【山川議長】

只今の事務局の説明では、本審議会は原則公開で行うこと、答申の時期は平成25年2月中とすること、答申は会長・副会長が代表して行うことなどの説明がありましたが、如何でしょうか。

#### <異議なしの声>

ご異議が無いようですので、そういう方向で審議会を開催していきたいと思います。ご協力をお願いします。

### (2) 第2次総合計画の策定方針及び基礎調査結果の報告について

※資料2～7を説明（邊見補佐）

#### 【山川議長】

資料2は総合計画策定の考え方や方法、体制などについての報告でした。また、資料3から資料7までは、この後説明がある「基本構想案」の前提部分として、近年の社会経済情勢の変化、人口、世帯等の統計データ、主な社会指標の類似団体都市との比較、現行の第1次総合計画の評価検証など、各種調査結果の報告となっています。

これらについてご質問・ご意見がありましたら頂きたいのですが、少なくとも1回は皆さんにご発言頂きたいと思っております。

資料には統計データやアンケート結果の報告もありますので、例えば統計データでこういう数字はないのかという質問でも良いと思います。例えば、工業の状況に製造品出荷額等がありますが、工業統計調査結果には付加価値額の数字も出ており、白河市にどの位の付加価値が加わったのかということもわかるようになっていきます。私個人としてはそういう点も気になる。後でも結構ですので、こういう数字は出せないのかなど、是非事務局の方に届けて頂ければと思います。

また、統計データでは最後に総合的な数字が出てきますが、注意していただきたいのは、プラスとマイナスが最後に相殺されてしまうので、総合的な数字が出た後に何でこの数字になったのかを逆に辿って欲しいと思います。総合平均が3.0で普通だから良いというものではありません。

#### 【川口委員】

- ・資料2の中で「実施計画」は、3ヵ年計画で毎年度ローリング方式となっている。ありがちなのは、3ヵ年計画を作っても毎年度ローリングすることでいつの間にか内容が変わり、結局は単年度計画になってしまうこともあるので一長一短がある。実施計画は毎年検証をしていくべき。

#### （事務局）

この後説明する基本構想案の最後の頁に「基本構想の実現に向けて」があり、実施計画も含めて、今後、計画の進行管理手法を検討していくこととなります。また、行政評価として毎年事務事業評価を行っているため、実施計画の作成後、評価せずに見直しを行うということは考えておりません。

#### 【川口委員】

資料4の市民満足度調査は震災前の調査であり、震災後に市民の価値観が変わっているのではないかと。特に19ページを見ると「安全・安心」の満足度と重要度が上位になっているのでこの辺も変わっているのではないかと。

#### 【鷹栖委員】

- ・資料3で類似団体を人口や産業構造で選んでいるが、立地条件によっても変わってくると思うので、例えば大都市から新幹線で1時間半のところとか、地方都市のベッドタウンを除くとか、地域性をもとに対象団体を選んではどうかと。
- ・資料5の子どもアンケート調査について、「参加したいと思う活動」について、小・中学生、高校生ともに地域のお祭りなどのイベント活動や清掃活動、リサイクルなどの環境保護活動が上位になっているが、アンケートの結果を出すだけでなく、その受け皿を作らなければならない。子どもたちが白河市のまちづくりに関わっていくことができれば、住み続けることに繋がると思う。その辺も含めて、アンケートの結果を生かして欲しい。

#### （事務局）

- ・類似団体との比較については、一つの目安として人口規模と産業構造により分類し提示させていただきましたので、ご了承願います。
- ・アンケートの結果については、この後説明する総合計画の基本構想や基本計画の中で反映すべきものですので、今後、アンケート結果を生かした計画づくりに努めていきたいと考えております。

### （3）第2次総合計画基本構想（案）について

※資料8を説明（関補佐）

#### 【山川議長】

冒頭で話しましたとおり、一人ずつ発言を頂きたいと思います。どの部分でも結構ですのでよろしく申し上げます。

#### 【薄井委員】

- ・グローバル化により、今は内需志向より外需志向になっている。将来に向けて消費税の増税もあり、個人消費がさらに冷え込む恐れがある。
- ・地域を活性化させることは必要だが、今は地域活性化の前に個人の生活が大事になって

いる。これからは一人ひとりの潜在的なパワーをどのように引き出すかが重要であり、そのための方策に力を入れるべき。それがなければ地域の活性化は難しい。

**(山川議長)**

一問一答という形には致しませんので、まずは皆さんの意見を頂いて、事務局で回答できるものは本日回答し、できないものは次回会議までに整理して頂きたいと思います。

**【角田委員】**

・類似団体の「失業率」について、平成22年度は派遣切りがあった頃で、白河市が全国ワースト3に入ったと聞いている。震災で状況は変わっているが、どのような対策を講じたのか、流出した企業や撤退した企業がどの位あったのかなど、言葉で知りたい。

**【川口委員】**

- ・将来人口は計画最終年に6万人を下回っているが、目標値を設定する必要がある。人口は減っていくが、それをどうやってリカバリーしていくのか、GDP、付加価値を生み出す方策というものを是非検討してもらいたい。数値目標が無いと作って終わりの計画になってしまう。
- ・12ページの市内総生産の資料は、データが平成21年までで古いので、もっと最近の数値は出せないのか。
- ・5歳階級別人口の資料では、震災後の平成24年に939人が減っている。0-4歳や団塊の世代の60-64歳の数値をもっと強調して全体に落とし込んで、大変な状態にあるという危機意識を持ち、それでは人口やGDPをどうやって回復していくのかという都市デザインを考えてほしい。

**【君島委員】**

- ・全体を把握するために資料が古いものと新しいものになることもあるが、その辺については、実際生活している人とそのジャンルの専門家で、現在の状況についてのリアル感を加えて行ければと思う。消防団について言うと、震災前と後では全く違うものになったので、震災後の資料を重要視して提言できればと思う。
- ・先ほども話があったが、震災後にどんな企業が入ってきたのか、どんな企業が去って行ったのかという資料も必要だと思う。震災後の資料についても要望したら出して頂くことで、この会議にリアル感を出してもらえれば良い。

**【酒井委員】**

- ・基本構想に再生可能エネルギーに関する記述がある。我々の推進協議会で産業サポート白河に調べてもらったところ、白河市にはこの分野の関連企業がほとんど無かった。実際に再生可能エネルギーを推進していくにあたり、この地域は太陽光とバイオマスに特化するしかない状況にあり、成長分野だから新たな雇用が生まれるという簡単なものではない。再生可能エネルギー推進の重要性は認識しているので、どのようにしてこの分野を推進していくのかをもう少し細かく示してほしい。

#### 【諏江委員】

- ・第1次総合計画をどう踏まえて第2次総合計画を作成するのが重要。資料3の第1次計画の評価・検証の結果では「安全・安心」の庁内評価はオールAで、「十分な成果を上げている」となっているのに、第2次計画の基本構想では「安全・安心」の項目が最初に挙がっているなどの疑問がある。ボリュームが多く1回では評価しきれなかったのか、行政内部の評価のためなのか、この資料の中では読み取れなかった。  
資料に第1次計画の成果が羅列してあるが、その中でも大きな成果を挙げたもの、少ししか成果が出なかったものがあると思うので、その辺の強弱を付けることができれば、次回検討の参考となるのではないかと。

#### 【瀬戸委員】

- ・資料の28ページに「白河市の目指す将来の姿」が掲載されているが、これは白河市民の努力目標を定めた市民憲章のことを言っているのか。平成17年の合併以降、白河市には市民憲章が無かったと思うが、この将来の姿との関係について疑問。実際、市民憲章づくりは合併後に進められているのか。
- ・少子高齢化が進む中で、結婚しない男性、女性の未婚者が増えており、深刻な問題となっている。そういうことも含めて、どのようにして白河に住んで結婚して、子どもを産み、人口を増やしていくのかということも重要。

#### 【鷹栖委員】

- ・3ページの平成23年3月11日の後にある「東日本大震災」の文言は、「東北地方太平洋沖地震」と正式名称にした方が良いのではないかと。
- ・同じく3ページでその後にある「喫緊の課題」という文言は、いかにもお役所言葉に感じるので変えた方が良いのではないかと。
- ・27ページのまちづくりの基本的な考え方のところ、「1 安全・安心でやすらぎのあるまち」に「子どもから高齢者まで」とあるが、「障がい者」の記述も入れた方が良いと思う。別の資料では「子ども、高齢者、障がい者など誰もが安全安心に暮らせる」という記述があったので、そのような書き方が良いのではないかと。
- ・同じく27ページの「1 まちづくりの基本理念」について、現在、市役所で策定している自治基本条例素案の中にも「まちづくりの基本理念」がある。どちらも考え方は同じですが、同時期に策定されるもので記載されている内容が異なると、市民にとって紛らわしい。合わせた方が良いのではないかと。

#### 【徳田委員】

- ・先ほどの意見と同じで、27ページの「子どもから高齢者まで」の記述に「障がい者」を加えた方が良いと感じた。
- ・福祉の見解から言うと、市の考え方がどうであれ、現場の考え方との間に相当の隔たりがある。例えば市から予算を確保したのでこれをお願いしますと言われても、障がい者の方々が白河に住んでいけるためには、現場が責任を持って赤字覚悟で受け入れなければならない現実があるということ、皆さんにも知って頂ければと思う。

### 【中島委員】

- ・第1次総合計画より良いものとするために検証作業を行っているが、第2次計画の基本構想を見る限りでは、あまり変化が感じられないように思える。
- ・28ページの目指す将来の姿について、将来の白河がこうなるという姿が、大人から子どもまでわかるようなものが良い。個人的には、白河と言えば「〇〇」と誰でもわかるような、特色のあるまちづくりができれば良いと思う。

### 【緑川委員】

- ・総合計画は基本構想、基本計画、実施計画により構成されるということだが、この審議会は全ての策定に関わることができるのか。実施計画は財源の裏付けを伴う具体的な計画ということだが、その実施計画の策定まで関わることが出来れば良いと思う。

### (山川議長)

それでは一通り意見を出して頂きましたが、本日確認できるものが幾つかありますので、事務局の方で答えて頂きたいと思います。

一つは川口委員からの統計データが古いのではないかとということ、二つ目は瀬戸委員からの市民憲章づくりは合併後行っているのかということ、三つ目は鷹栖委員からのまちづくりの基本理念が自治基本条例案と違う言葉になっているので整合性という部分でどうなのかということ、最後は緑川委員からの審議会では基本構想、基本計画、実施計画のどこまでの議論を行うのかということでした。差しあたりこの4点について説明をお願いして、その他の意見についても次回までに整理して頂きたいと思います。

### (事務局)

- ・計画策定にあたり、データについては出来るだけ最新のデータを提供したいと考えております。なお、市内総生産のデータについては平成21年までですが、年末に平成22年の数値が公表される予定です。
- ・市民憲章については、合併後、策定しておりません。
- ・自治基本条例のまちづくりの基本理念との整合性については、自治基本条例の起草委員会などでも検討していきたいと考えております。
- ・総合計画審議会の役割としては、基本構想及び基本計画の審議までとなっていますのでご了承願います。

### 【緑川委員】

- ・アンケートその他いろいろな調査の結果を素晴らしいと思いながら見ていた。例えば満足度調査では項目の順位付けをしているが、18ページの散布図などが非常に分かりやすい。満足度と重要度の関係を色々な視点で見ることが出来れば、今後どのように取り組んでいけばいいか検討できる。他のデータが提供できるかどうかということより、まずは出されたデータを理解し、解釈し、活用していくことが必要ではないか。

**【鷹栖委員】**

- ・防災訓練に関連して、震災時にマニュアルの不備があり困ったという話を聞いた。日頃から一人ひとりがどうやって自分達を守るかということを考えて、行動できるようにするための訓練が必要と思う。今後、是非、防災計画の中でそういう点も取り入れて頂きたい。

**(山川議長)**

- ・時間も超えましたので本日はこの辺りで終了しますが、表現や言葉などの細かい点でも結構ですので、意見等を事務局まで寄せて頂きたいと思います。それでは事務局に進行を戻します。

**(事務局)**

皆様からいただいたご意見、ご質問あるいは資料の提供等について整理をした上で、次回の審議会に提示させて頂きたいと思います。

なお、次回の審議会は平成 24 年 10 月 29 日（月）午後 1 時 30 分からとなっておりますので日程の確認をお願いします。次回は基本構想修正案と基本計画骨子案を提示したいと考えております。